

# 今連盟だより

第4号

昭和59年11月15日

発行 静岡県家庭婦人バレーボール連盟事務局 〒426 藤枝市大手1-28-4 電(0546)41-5381

明るく、楽しく、美しく

理事長 増田ユキ子

昭和五十九年度は、連盟創立十周年

記念の総会で始まりました。今年度、

計画されました各種大会、講習会等も、  
着実に消化され、来春一月に予定され  
ている、バレーボール教室を残すのみ

となりました。この間、県バレーボーラー  
協会をはじめ多くの関係者の皆様よ  
り、多大のご支援ご協力をいただきま  
したことを、心から感謝いたしております。

バレーの好きなお母さんたちが集ま  
って明るく、楽しく、和やかな雰囲気  
の中で十年の間、私達の連盟をつくっ  
てまいりました。しかし、まだ県内には、未登録のママさんチームが数多く  
あります。各地域の方たちとつながり  
をもち、仲間づくりをするなかで、マ  
マさんバレーの輪が更に大きく拡がる  
よう努力してまいりました。そして、  
いろいろの面で自己研修に努め、連盟  
の発展向上のため、役員一同、心あら  
たに前進してまいりたいと存じます。  
最後に、日頃あたたかく見守ってい  
て下さいました、ご主人はじめ、ご家  
族の皆様に心から御礼を申し上げます。

参加してみようという気持ちで臨んだ  
結果負けたが出てよかったです。

## 「真田牌優勝大会」

S 59・5・6

会場 静岡市民体育館

★真田先生よりのメッセージ

家庭婦人バレーボールも年々盛大を  
極め、この健康的なスポーツを楽しみ  
つつ、おのずから心身の健康が計られ、  
喜ばしい限りである。真田牌バレーボ  
ール大会も、家庭婦人の部は昭和五十  
一年発足し、今年は第九回を迎える。関  
係者各位と、諸姉の絶大な御協力のも  
とに、立派に推進されていることは有  
難い次第である。

★参加チームにインタビューしました

千代田クラブ（静岡市）

新しいメンバーになりましたのでコン  
ビネーションが思うようにいかず、一  
人一人の実力が出しきれませんでした。  
でも、とても楽しく試合ができました。  
ありがとうございました。

親栄クラブ（島田市）  
地元「島田」は年二、三回の試合な  
で、好きな人が集まり、大きな大会へ

昨年にひきつづき参加させていただき、  
よい勉強になりました。  
△上位成績△

優勝	準優勝	袖師シースカイ
千代田クラブ	清水西クラブ	
第三位	竜洋クラブ	
長泉クラブ		

今大会は、レベルが高いとの評判があ  
る為か、参加チーム数が少ない。A B  
のグループわけをして、参加チーム数  
をふやし、同じレベルのチームと対戦  
できるようになればよいと思う。

チーム名		チーム名	
1 清水西クラブ	12 千代田クラブ	13 静岡アサイクル	14 リラブ
2 袖師シースカイ	14 ブブブブブ	15 浜松西益	15 ブブブブブ
3 連島クラブ	16 うく	16 きたご	16 ブブブブブ
4 長飛	17 北球	17 江田	17 ブブブブブ
5 泉	18 岡	18 岡	18 ブブブブブ
6 向敷地	19 静	19 栄	19 ブブブブブ
7 向敷地	20 静	20 岡	20 ブブブブブ
8 向敷地	21	21	
9 向敷地			
10 向敷地			
11 向敷地			

# 第15回全国家庭婦人バレー ボール大会

全国大会出場権を目指した参加チームは気迫に満ちていた。今年も、東・中・西、3会場において地区予選が5月27日開催された。

## 地区予選レポート

高台クラブ 西原弘子(浜松市)

西部地区予選は十二チームで試合が行われました。全国大会は全て、(監督、コーチ、マネージャー)と、女性の手によって運営しなければと思ふにまかせず、審判だけは県協会の男の先生方に協力を願いした次第です。講習会に多くの方が参加しています。

が行われるよう、努力したいと思っています。

小松第一チーム(浜北市)

初めての参加で、皆緊張してか、いつもの調子が出なかつたと思います。チームワークは良いけれど、全員そろつての練習が少なく、試合なれという点でもまだ経験をつんでいかなければならぬと思います。今日はいろいろな点で大変勉強させていただきました。これから目標はまず一勝!

笠原チーム(袋井市)

地区内だけの試合を経験していた私達は、初参加の西部大会はどこまでやれるか、心配しながら参加しました。結果七位という成績を収めることが出来ました。西部地区の代表チームに恥じないよう、頑張ってきたいと思います。

まず一勝、出来ればベスト8に進出をした

清南チーム(清水町)

(試合後の反省)

公式戦初出場の為、全員非常に硬くなり、練習時の力を出し切れなかつた。次回を目指し、尚一層の練習に励みたい。

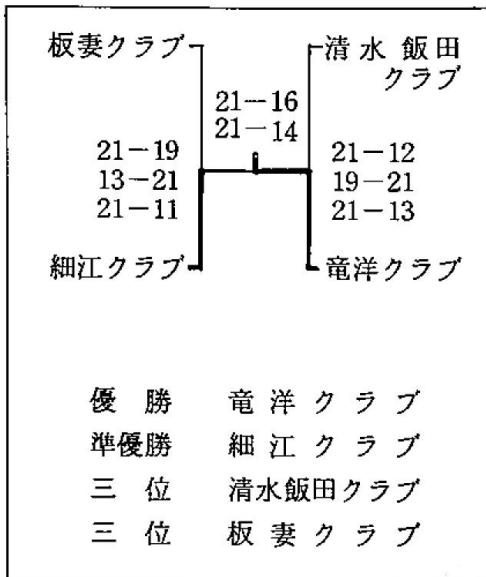
## ▼全国大会県予選大会▲

S 59. 6. 24

会場 藤枝市民体育館

東・中・西の地区予選を勝ち、いよいよ第十五回全国家庭婦人バレー ボール大会の、県

大会へ駒を進めた二十四チーム、白熱の試合が展開されました。熱戦の結果、磐田郡竜洋町の竜洋クラブに、優勝の栄冠が輝きました。(準決勝戦より)



## 県予選レポート

細江クラブ 金子 和子

去年、長泉クラブと竜洋クラブの決勝戦を応援して、来年こそ自分たちが出るのだと目標を持って、いつもの年より練習にも気合を入れてやってきた。準決勝で板妻クラブに勝った時は、決勝に進出できても嬉しかった。竜洋クラブに負けてしまい残念だったが、来年を目指し頑張りたいと思う。

## 三三全国大会観戦記三三

「グループ戦の前日に行われた親善試合、二戦二勝!!」

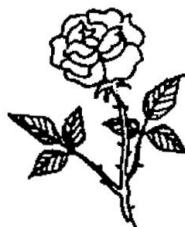
駒沢体育館での竜洋クラブの奮闘ぶりは実際にさわやかであり、最高のチームワークを見せてくれた。関監督、鈴木主将を中心に、総勢十四人で大会にのぞみ、その姿から、我が静岡県家婦連の目標“明るく、楽しく、美しく”がまさに竜洋クラブによって花開き、大きな感動を覚えた。

◆トーナメント戦

(1回戦)	
竜洋クラブ	ブ
2 { 21-10 }	0
羽合町クラブ(鳥取)	
(2回戦)	
HIME SHI MA(大分)	クラブ
2 { 16-21 }	1
2 { 21-12 }	
2 { 21-17 }	
竜洋クラブ	
2回戦で惜敗	

念願の、全国大会出場の夢がかない、県代表として活躍された竜洋クラブのみなさんの感激の声!!

## 第15回 全国家庭婦人バレーボール大会に参加して



監督 関 幸江

所詮、井の中の蛙であるのなら、

大会で思う存分泳いでやろうの、  
決意の元に上京した私達は、意外  
な東京都体育館の素朴さに、半ば  
肝を抜かれた思いでした。それは、

多分、静岡県と言う素晴らしい環  
境の中で育てられた所以と、あら  
ためて県連盟の力強さを感じ、勇  
気付けられました。試合に緊張は  
全く全てが終了した今、私達をこ  
れからへの感謝の念を抱きながら、  
これから自分のチーム造りを  
謹んで考える次第です。

マネージャー 中村ちづ子

勝つ事も大切ですが、ケガをする人もなく、お互いの信頼を一層  
深めあって、一つの事に当った経  
験は忘れられない事となるでしょう。

- (1) 大杉 幸子  
全員一体となつて戦いました。私達のチームはこの大会で得たものがたくさんありました。全国大会で審判をした事も良い経験でした。
- (2) 鈴木 幸代  
バレーをやっていて良かったと感じた全国大会でした。全チームの方々に一度は味わっていただきたい経験です。
- (3) 鈴木 倫子  
全てが白熱した試合展開で最終的には氣力の勝負、油断は禁物でした。静岡県の代表としての自覚を持って戦つてきました。
- (4) 大杉 初江  
大会中、三人の子供の事を気にしないでいたくれたからだと思いました。
- (5) 中島 初代  
東京大会出発前夜、家族が企画してくれた我が家のお祝い会、燃えてる母さんってステキだね」と二人の子供、最高に喜せだと思つた。
- (6) 木元 妙子  
今までにないプレー、チームワーク、さわやかな気持で帰つて来ました。今後に良い経験として生かせたらと思います。
- (7) 松下喜代美  
素晴らしいチームと悔いのない試合が出来た事をマレーシアへのおみやげ話として持つて行きます。
- (8) 中野まり子  
一生懸命やりましたので悔いはありません。

最後に連盟の皆様と家族に心からありがとうございました。



留守中の子供の面倒を見ててくれた、お父さん、おじさん、おばさんどうもありがとうございました。

入場行進はちょっと緊張しました。全員が“まずレシーブ”を合い言葉に一戦一戦を全力を出して戦いました。

(9) 伊藤 文子

素晴らしいレシーブ、応援にも熱が入り何だか興奮してしまいました。やはり全国大会はすごいと思いました。

(10) 鈴木 晴美

試合を通じて改めてサーブの重要性を強く感じました。重要な攻撃力となるようなサーブを研究したいと思います。

(11) 名倉たづ子

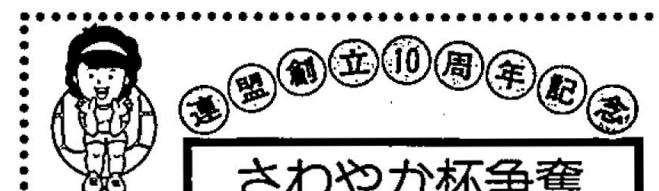
親善試合を少し考えて頂きたいと思いまして。二回戦の相手チームの平均年令が28才、これには、まいってしまいました。

(12) 鈴木 清子

⑩ ⑨ ⑧ ⑦ ⑥ ⑤ ④ ③ ② ①  
 羽 第 沼 長 江 川 三 島  
 热 津 泉 原 中 央 婦 人 學 級  
 衣 五 野 克 倍 会 球 會  
 愛 好 会 会 布 会  
 会 布 会

渡 边 晴 井 静 藤 齊 木 鈴 増 田  
 恵 美 み か ク ラ ブ 木 文 ユ キ 子  
 美 子 さ み く ラ ブ 本 静 子  
 み す い く ラ ブ 木 文 子  
 す い く ラ ブ 木 文 子

(記念品贈呈者とチーム名)



## さわやか杯争奪

# 第六回 静岡県家庭婦人バレーボール大会

スカットとさわやか、いかにもお母さんにおさわしい大会です。本大会最高の83チームが参加し、富士コカコーラボトリング様の御厚意で賞品を頂ける楽しみや、同じレベルのチームが、ランク別に競い合える大会です。

また今年は連盟十周年を記念して本大會参加の五十才以上の方達に長年チームや連盟に対しての協力を感謝の意味を込めて、記念品の贈呈がありました。

⑪ ⑩ ⑨ ⑧ ⑦ ⑥ ⑤ ④ ③ ② ①  
 中郷クラブ 西益津球趣会  
 浜松西クラブ 向敷地クラブB  
 二俣クラブ 由比愛球会  
 飛翔クラブ 本町クラブ

福田和中西溝子 棟地房枝子  
 小沢利江子 滝本千枝子  
 五十嵐恵子 小池晴江  
 長谷川みつ子 宇田陽子  
 奥沢静江 森下洋子

### 表彰を受けて

三島西クラブ 筑川玲子

この度は表彰にあずかりありがとうございます。  
でも『県連盟創立十周年を記念して』とは

いえ、ただただバレーが好きで離れられないでいるだけの私が、年がきてるからといって表彰されたりしてよいのだろうかと考え、今さらながら照れくさい思いです。

私がママさんバレーを始めた頃は体育館等なく運動場でやったものでした。チームも一チームしかなく、三島市の大会があると地域で即席のチームを作つて試合をしたものでした。現在のように地域どころか町内別にチームが出来るなんて考えもしませんでした。今日出場の二十七チームのどの顔も予選で勝ちぬいてきた誇りと、今日の試合を堂々と戦う意気込みとで、活気に満ち満ちた足どり

創立十周年おめでとうございます。  
思い起こせば私が棟原に在住していました頃、家庭婦人連盟が発足され、私共愛好家は大変喜んだものでした。当時はゴムボールでのバレーボラーバカリでしたので、皮ボールの選手を集めるために走り廻った事が思い出されます。全国大会、その節は連盟の役員方に大変御世話になり一生忘れる事の出来ぬ一頁です。

主人の転勤で掛川へ参り、バレー無し生活は淋しいので、早速広報でバレー教室の記事を見つけすぐ様受講に参りました。御仲間も出来、呼び掛け合いましてやつと『新チーム誕生』『飛翔』と命名現在に至っております。

げます。

で入場行進をしているのをみて、スポーツをしているものの充実感と幸せを感じました。これからいつまで続けられるか分りませんが若い人達の中で年忘れ、元気に楽しく毎日を過ごしたいと思っております。

### 好きなバレー人生

飛翔 宇田陽子

# さわやか杯

## 参加の感想



三島中央婦人学級 宮沢ゆき子

西部代表チームに恥じない為にも頑張っていいと思います。いろいろとわからない所を親切に教えて下さった役員の方々のお力添えは本当に感謝する次第です。

あこがれの草薙体育館で、さわやか杯県大会は行われました。この大会は、私にとって初めての体験でした。プラカードを持って行進した時の気持は、何とも言えない感激で青春時代に返った氣がしました。「ぜったい勝つて決勝へ進んでやる！」と心に誓い、試合に望みましたが、浮き足だった我が中央バレーチームは一回戦で負けてしまいました。

でも最後まで見学させていただき、勉強することも多くあり、チームの皆と反省やら来年の抱負等を和気あいあいと語り、より絆が深まつたように思います。

来年こそはと、心新たに精一杯汗を流しておられる今日このごろです。

### 笠原チーム

地区内だけの試合を経験していた私達は、初参加の西部大会は、どこまで今までの練習成果がでるか、心配しながらの参加でした。レシーブの強さ、トスのまわし方と、スピードある試合運びの上手さに、いろいろのチームと当つて勉強になりました。

飛翔クラブ 戸塚美代子

### 人物紹介



#### 沼津原クラブ

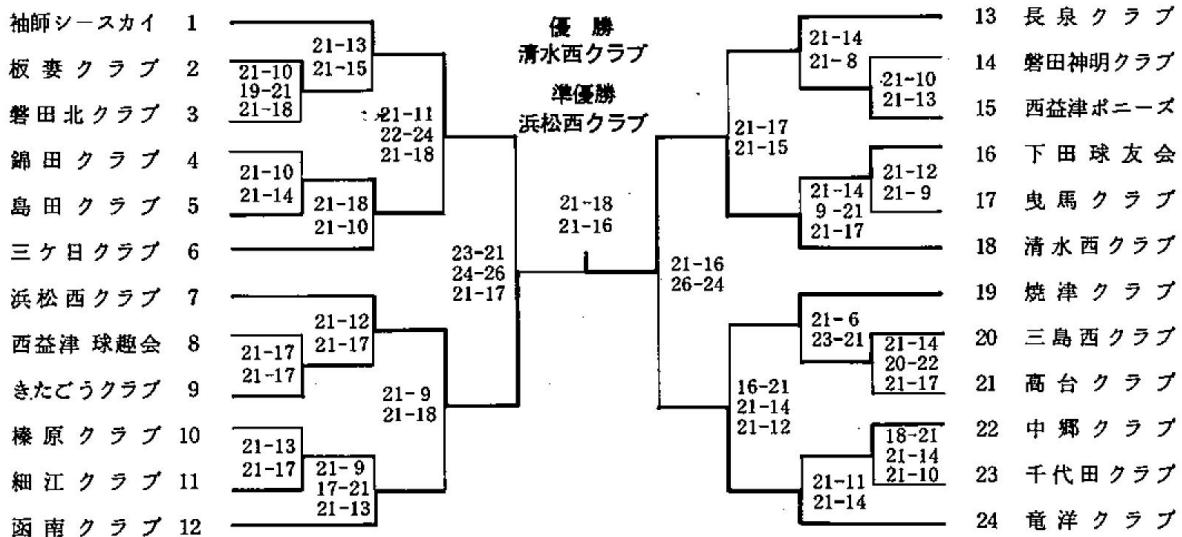
##### 碓井 静子さん(54才)

さわやか杯参加の最高年令者として、記念ボールを授与されました。現在は、教員をしながら沼津市の家庭婦人副部長として、また、ママ过去には連盟役員としても、ママバレー発展、育成と共にとりくんでこられた方です。今後も連盟のために、より以上の協力をねがいしたいと思います。

連盟創立10周年記念

## 第10回 静岡県家庭婦人バレーボール選手権大会

兼第11回東海家庭婦人バレーボール大会県予選



下田球友会 山下千与子

いよいよ明日は、県選手権大会。この

大会出場は初めてのことです。

前日の十月十三日、九名の選手、監督、

コーチ、マネージャーといっしょに、十

五時二十分下田駅を出発、静岡に向かう。

今までの試合には宿泊したことがあまり

ない。今度も三名は、明日の朝五時三十

分に下田を出るのです。そうした人達の

ことを考えて、宿泊はスポーツセンター

にしました。食事もよく、部屋もきれい

になりました。だつた。他のチームは強いだろうな……

不安のまま眠りにつきました。

私たちもチームを作つて十年以上にな

ります。その間、さわやか杯をはじめ、

いろいろな大会に出場して来ましたが、

この大会には初めての参加です。一回戦

は、思つたよりらくに勝ちました。これ

ならなんとかいいところまで……と思ひな

がら二回戦に臨みました。

二回戦は清水西。昨年の優勝チームで

す。みんな心をひきしめて臨みましたが

一セツトは負けました。二セツトめは9

ー21という驚くような点でセツト勝ち、

いよいよ三セツトめです。チエンジコ

トまではとつていたのですが、サーブレ

シープのミスで十点以上もとられて、あ

つけなく負けてしまいました。優勝チ

ームと戦い、これだけの点がとれたとい

つことは、はじめて私達には大きな自信に

つながります。これからは、この試合の

反省を生かしてサーブの練習に励み、来年をめざしてがんばります。

なお、家族の方々の暖かい理解と協力

に支えられて私は宿泊までして、心お

きなくこの試合に臨むことができました。

感謝 感謝!!

磐田北クラブ

監督もコーチもなしで、チーム全員で練習方法を考え、又努力することを目標に頑張っています。

後衛三名の安定したレシーブ力を基に、中衛のボールさばきから攻撃に結びつけられて大会に参加いたしました。初戦では調

べて大会に参加いたしました。我がチームの最大の欠点である、相手チームに翻弄され自

分達のバレーが出来ない点は影をひそめ、

合運びが出来ました。我がチームの最大

の欠点である、相手チームに翻弄され自

分達のバレーが出来ない点は影をひそめ、

しますが、まだ磐田北クラブ健在な

最近は粘り強さが出てきたように思いま

す。

チーム結成十一年、平均年令も高くな

り、試合数が多くなるにつれ疲労感も増

しますが、まだ磐田北クラブ健在な

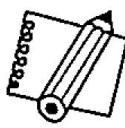
り。県大会に向かつて更に練習を積んで

頑張るつもりであります。

お世話を下さいました大会役員の皆様方には心よりお礼を申し上げます。

## 指導者講習会に

参加して



連盟指導普及委員会

山本 悅子

六月十七日、桑名市民体育館において、講師日本バレーボール協会指導者普及委員会副委員長 鈴木紋吉先生のもとに受講者約百名が集い指導者講習会が開催されました。

会場で渡された七枚綴のプリントの中にはこと細かに指導理論、（例えば、男性にアタックを百本打たせればその場でダウン、女性は五百本でもケロッとしている。又、得点の十七、十八点からは、女性特有のイライラやヒステリーが始まるなど、実際に良く女性の心理をとらえた分析）が書かれていました。更に鈴木先生のユーモラスな話し方による説明をうけ、最初は不安だった私にとってもわかりやすく楽しく理解できました。

指導理論の中に教育的要素と勝負的要素があり、スポーツは勝負であるから勝負的要素を指導者は選び勝利を夢み、これには三つの要素が必要とされ（一）優れた指導者（二）環境（三）素質とあります。これまで私は、家庭婦人の試合では勝利よりも、スポーツの喜びや素晴らしい仲間を得ることの方が大切だと思っていましたが、鈴木先生の指導理論に

ふれた今では、やるからには理想を現実的な目標として努力する必要があると思う様になりました。

つづいて実技では、基本的技術を正確に習得するためには、早く覚える方法、うまいへたを見分ける方法など、厳しさの中に優しくきめ細かな実技指導をして下さいました。

先生や企画運営の方々、その他お手伝いしてくださった学生の皆さんには、心から感謝しております。

## 「さわやかバレー教室」に

参加して

浜岡さくらクラブ（未登録チーム）

レシーバーとして少し（？）自信をなくしている今、どんな小さい事でも何かのきっかけになるのは？という願いから参加させて頂きました。お陰さまで忘れかけていた事を、改めて思い出させてもらえたようです。

最初は、用事があるから三時頃には帰るつもりでしたが、すばらしい指導に帰る気になれず、最後まで受講してしまいました。終始、なごやかな中にも、一つでも多くのことを学ぼうと、みな真剣な顔で監督の話に聞き入っていました。相手を思いやる気持ちが大切だということ、基本的に忠実であること、これからチームの練習に、監督の一言一言を思い出しながら、はげんで行きたいと思います。

もし、又、こういう機会があつたらチーム全員で参加したいと思います。

県家庭婦人連盟の方々、おさそい下さいま

浜岡球友クラブ（未登録チーム）

森 とく代

五月八日㈫に、さわやかバレー教室に参加させていただきました。最初に受講式を行い、コーチの先生方の紹介がありました。

小島監督、深尾選手、田中選手とすばらしい方々に御指導いただいて、とても感激しました。実技に入つてからも、小島監督のユーモアを交えた御指導には、もう、おもわず大笑いをしたり、苦笑したり、話す事一つ一つに耳がいたかつたりで、日頃の自分達の練習を反省することしきりでした。

受講生は丁度お茶刈りの季節だったこともあって、百五十人位でした。私達には、かえってそれがとても良い結果になりました。なぜなら、直接御指導いただく機会がたくさん得られたからです。私のチームからも、新人二人を含めて五人参加しました。

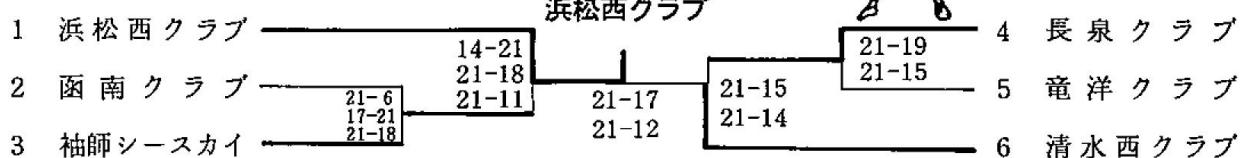
バレーは自分一人だけではなく、やはりチームワークが一番だという事、いかに次の人が受け取りやすいボールを返してあげれるかどうか、簡単そうに、当たり前のように考えていましたが、やはりこの事が一番大切なと思いました。学生の時のようにみっちり時間をかけて練習できないだけにママさんバレーはむずかしいと思います。短時間で上達する為にも基礎をしつかり身につけ、目的を持つて、楽しい雰囲気の中でこれからも練習に励みたいと思いました。

# さわやか杯争奪 第8回 静岡県家庭婦人バレーボール大会 県大会成績結果

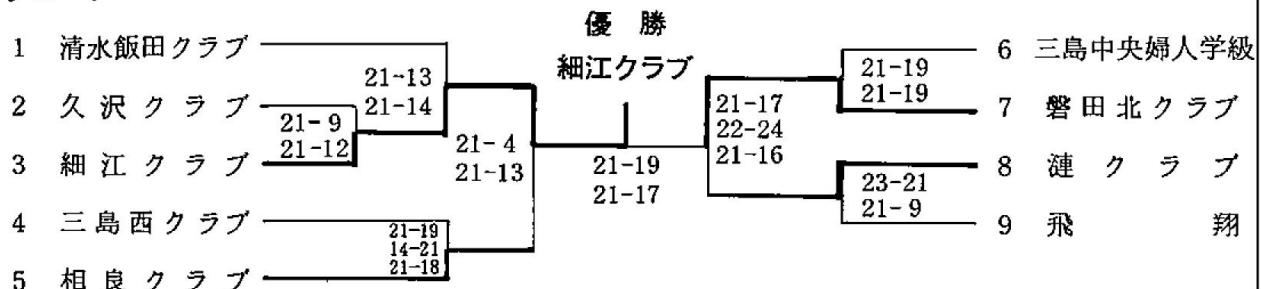
S 59. 9. 9 県営草薙体育館



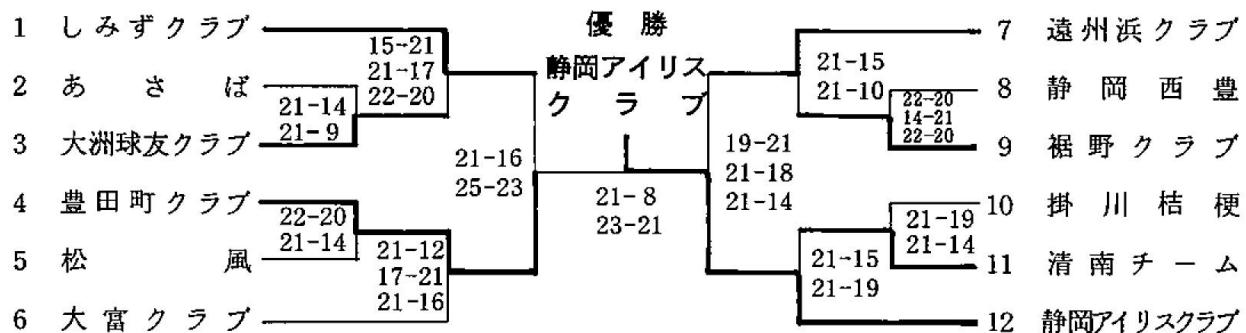
## Aグループ



## Bグループ



## Cグループ



し上げます。

高齢化社会、最近特に耳にする言葉です。まだまだと思いながらも、あれこれ自分の老後には思いをはせる方々も多いのではないでしょ  
うか。だから今こそ、健康で生きがいのある生活が、必要ではないでしょうか。  
幸い、私たちはバレーを通してよい友だちと交流し、  
そう簡単に年を老わないよう、自分なりの理想をもって生きて行きたいものだと思います。  
連盟の登録メンバーも世代の中が広がつて  
いました。お互いの立場を理解して、よりよい連盟となるよう、支え合って行きましょう。  
原稿をお寄せいただきました方々にお礼申

## 総集後記

● 浜松西クラブは一回戦 池田クラブ(岐阜)と対戦(21-17、21-15)で勝ちすすみ、やはり二回戦で知立クラブ(愛知)と(21-17、21-18)と善戦したが惜敗する。(21-10、21-16)で惜敗する。

県代表 清水西クラブ(浜松西クラブ)共に第三位

於 S 59. 10. 21  
三重県桑名市民体育館

第11回  
東海家庭婦人バレーボール大会

大川由美子